
1 0 2 2. 移動届呼出し

業務コード	業務名
VMR 1 1	移動届呼出し

1. 業務概要

以下の情報を呼び出す。

呼び出された情報は「移動届（VMR）」業務において、届出等の訂正または取消しを可能とする。

また、呼び出された情報は、VMR業務の新規届出等に利用可能とする。

（１）移動届情報呼出し

VMR業務または「移動届等（WMR）」業務によりシステムに登録した情報を呼び出す。

（２）入港前統一申請情報呼出し

「入港前統一申請（VPX）」業務または「入港前統一申請（WPT）」業務によりシステムに登録した情報を呼び出す。

2. 入力者

船会社、船舶代理店

3. 制限事項

なし

4. 入力条件

（１）入力者チェック

①システムに登録されている利用者であること。

②入力者が船会社でかつ船舶コードが入力された場合は、入力された船舶コードに対する船舶DB上の船舶運航者と同一会社であること。

③入港前統一申請番号が入力された場合は、申請を行った利用者であること。

④移動届提出番号が入力された場合は、届出を行った利用者であること。

（２）入力項目チェック

（Ａ）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通仕様書」参照。

（Ｂ）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通仕様書」参照。

（３）入港前統一申請DBチェック

入港前統一申請番号が入力された場合は、以下のチェックを行う。

①入力された入港前統一申請番号が入港前統一申請DBに存在すること。

②入力された利用者は申請を行った利用者と同一であること。

（４）移動届DBチェック

移動届提出番号が入力された場合は、以下のチェックを行う。

①入力された移動届提出番号が移動届DBに存在すること。

②入力された利用者は届出を行った利用者と同一であること。

5. 処理内容

（１）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。

（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) 移動届情報呼出情報編集処理

①入港前統一申請番号が入力された場合は、入港前統一申請DBより編集処理を行う。

②移動届提出番号が入力された場合は、移動届DBより編集処理を行う。

(3) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
移動届情報呼出情報	なし	入力者